



不安神経症と向き合い、
恋愛依存から母性へと女性性を
開花させた30代女性のケース



日本ホメオパシーセンター江別元町
風織*かおり 片山里美

©2023 S.katayama & JPHMA

「不安神経症と向き合い、恋愛依存から母性へと女性性を開花させた 30代女性のケース」について発表させていただきます。

【主訴】30代女性

不安神経症

恋愛で嫌われることへの不安

...発狂するほどの不安

陰湿な女性職場のストレス

...過呼吸

パニック発作を繰り返す

...呼吸困難

*パートナーとの離別、離職によって症状悪化

©2023 S.katayama & JPHMA

30代女性の方のケースです。

子どもの頃から学歴を重視する家で育ち、音楽の道に進んだことが恥だと扶養に入れてもらえず、母親はアルコール依存で「産まなきゃ良かった」と真顔で言われて、幼い頃から、自分の存在を認めてもらうことなく育ちました。高校の頃から恋愛に慰めを求めるようになり、10歳以上年上の男性と結婚されました。お子さんを出産した後に離婚されています。

健康相談をすすめる中で、自分の女性性が搾取されることへの男性への恐怖と、自分の女性的な魅力で恋愛に依存する両面があることが見えてきました。精神のバランスが取れず、恋愛で嫌われることへの不安と、陰湿な女性職場のストレスで、不安神経症からパニック発作を繰り返していました。再婚を考えたパートナーと別れ、ストレスの多い女性職場を退職したころ、パニック発作から来る呼吸困難が悪化しました。

恋愛関係が終わりそうになると、極度の不安に襲われて、パニックで発狂し呼吸困難になり、絶対に頼れる人がいないと不安に駆られて自分を維持できない、嫉妬と攻撃の多い女性職場で女性上司から責められると、焦って必要以上の仕事を抱え込み過呼吸になる。この状況に Zen ホメオパシーとファーストフラワーエッセンスをお選びしました。

1 回目 2021/8/31

- 1 : 562# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 3. 呼吸 - 阻まれた(助けられた, 止まった) : - 窒息発作(仮死状態, 息が詰まる)
- 2 : 779# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不安 :
- 3 : 1747# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖)から :
- 4 : 1881# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 人中で:(+好転 抽りていると) :
- 5 : 2038# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 月経 - 前 :
- 6 : 1687# 4. 基調 - 1. 基調 - 1. 時間 - 朝に :

順位	レメディ-	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Lyc.	6	16	2	3	2	3	4	2			
2	Sep.	6	16	1	3	1	4	4	3			
3	Phos.	6	16	3	2	2	2	3	4			
4	Sulf.	6	15	3	3	1	2	4	2			
5	Stann.	6	11	2	2	1	2	2	2			
6	Puls.	5	16	3	4	4		4	1			
7	Verat.	5	15	3	3	2		4	3			
8	Carb-v.	5	14	3	3	1		3	4			
9	Nux-v.	5	14	3	3	3		1	4			
10	Ign.	5	14	3	3	4		1	3			

The bonninghausen Repertry(TBR) よりレメディ-選択

©2023 S.katayama & JPHMA

The Bonninghausen Repertry を使ってこの方の症状に同種のレメディ-をお選びしました。

随時

MT) バーバリスブイ

発作時の腎臓部の痛み

+ Calc-p.LM02

(リン酸カルシウム) 疲れ易さ

+ Bac.LM03

(結核菌) 呼吸器の弱さ

+ Sep.LM04

(イカ墨) TBRより

+ Carb-v.6C

(植物炭) 息苦しさに

©2023 S.katayama & JPHMA

発作時の腎臓部の痛みと再就職する体力をつけるため肝臓腎臓をサポートする Berb-v のマザーチンクチャーをベースに、極度の不安と呼吸困難に対応するレメディーを選択しています。



また、合わせてファーイーストフラワーエッセンスもお選びしました。

フジの捻じれ絡み締め付ける姿と、マツムシソウの傷ついてぼろぼろの姿に見える舌状花は、主訴の背景にある「嫉妬と陰湿な環境で疲弊した状態」と重なります。

また、オニグルミの硬い殻のように強力で外界から身を守り、境界線を明確にする必要があるとみて選択しました。



フジ (マメ科/4~5月/青紫)
陰湿な感情や態度が渦巻く環境に巻き込まれて葛藤する
世俗の陰湿な争い事から離れて穏やかで平和な境地に行く



オニグルミ (クルミ科/4~5月/赤緑)
環境の変化に左右される
保護された安心、境界線を強化する



マツムシソウ (スイカズラ科/8~10月/淡青紫)
人間関係のトラウマ、過去を清算する
トラウマから立ち直る過程を支える
傷つくことへの恐怖が減る

※随時の水に各7プッシュ入れてとる

©2023 S.katayama & JPHMA

ファーイーストフラワーエッセンスのフジは、
陰湿な環境に巻き込まれて葛藤するときに、その争いごとから離れて、穏やかな平和な境地に導いてくれるエッセンスです。

オニグルミは、
環境の変化に左右されるとき、保護された安心と、外界からの境界線を強化するはたらきがあります。

また、マツムシソウには、
過去を清算し、トラウマから立ち直ることを支えてくれるはたらきがあります。

ファー・イースト・フラワーエッセンスは、
四季のある日本の文化や風土に根ざした、
日本の植物から作られたフラワーエッセンスです
日本に暮らす、私たちの心の問題に深く対応しています



調和の乱れた状態から、もとの健康な状態に
戻してくれるはたらきがあります

©2023 S.katayama & JPHMA

今回の健康相談で、3 回にわたって ZEN ホメオパシーのメ
ディーターとともに選びました、ファーイーストフラワーエッセ
ンスについてですが、

心を癒す花の療法と言われるフラワーエッセンスの中でも、
四季のある日本の文化や風土に根ざした、日本の植物から作
られたフラワーエッセンスです。

本来の姿から逸脱して、調和の乱れた状態から、本来の健康
な心と身体に導いてくれるはたらきがあります。

〈経過〉

再就職

...ストレスなく働ける環境になった

他者との距離感が分かってきた

パニック発作による呼吸困難は起きていない

*もっと伸び伸び仕事をしたい！

©2023 S.katayama & JPHMA

初回のレメディ―とフラワーエッセンスを使った経過です。

他者との距離感が分かるようになってきました。

再就職をし、以前の職場のような女性社会のストレスがなく働ける環境になりました。新しい職場で、部下を任せられ仕事に充実するようになりました。

パニック発作による呼吸困難は起きていません。人間関係のトラウマを手放してもっと伸び伸び仕事をしたいとのご希望でした。

2 回目 2021/11/20

1 : 560# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 3. 呼吸 - 不安な :

2 : 1747# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖)から :

3 : 660# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 3. 血液および血液循環 - 循環の低下(不十分)(蒼白を伴うなど) :

4 : 2038# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 月経 - 前 :

5 : 797# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 悲しさ(憂うつ) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7
1	Puls.	5	19	4	4	4	4	3		
2	Ign.	5	15	3	4	3	1	4		

TBRよりレメディー選択

©2023 S.katayama & JPHMA

2 回目のレメディーを選択しました。

随時

サポートΦKin-mak (筋膜)
+ Calc-p.6C 悲しみで悪化
+ Bac.30C 前回にお引き続き
+ Ign.30C (イグナチア) 悲しみに

*ファー・イースト・フラワーエッセンス



チャノキ



ヒサカキ



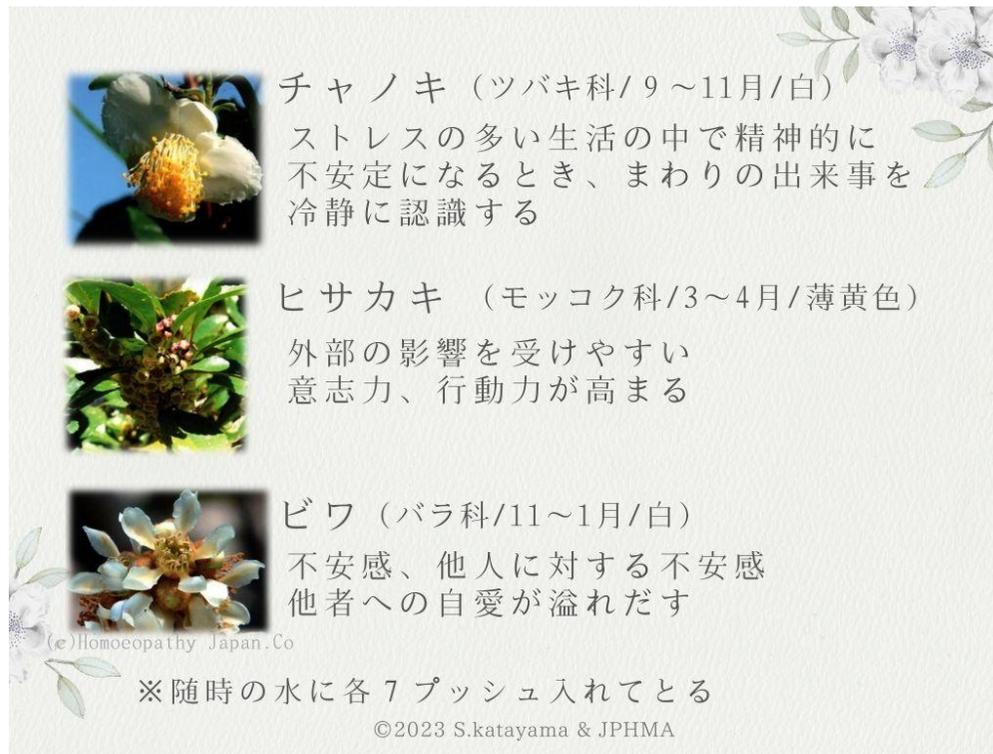
(c)HomoeopathyJapan.Co

ビワ

©2023 S.katayama & JPHMA

引き続き主訴に対応するとともに、その背景にある幼少期に母親から存在を認められなかった悲しみに向き合うレメディーを選択しています。

冬の寒さに備えて腎臓をサポートできるよう、前回と同様の Berb-v. のマザーチンクチャーを含むサポート筋膜をお選びし、肉体と精神両面の強化に繋がりたいと思います。



チャノキ (ツバキ科/9~11月/白)
ストレスの多い生活の中で精神的に不安定になるとき、まわりの出来事を冷静に認識する

ヒサカキ (モッコク科/3~4月/薄黄色)
外部の影響を受けやすい
意志力、行動力が高まる

ビワ (バラ科/11~1月/白)
不安感、他人に対する不安感
他者への自愛が溢れだす

©Homoeopathy Japan.Co
※随時の水に各7プッシュ入れてとる
©2023 S.katayama & JPHMA

また、ファーストフラワーエッセンスは、改善傾向の状態を軌道に乗せるべく、静寂と集中力をもたらすチャノキ、場を浄化するヒサカキと併せて安心をもたらすビワを選択しました。

〈経過〉

息苦しさ、不安感...改善

女性的な魅力を使って恋愛依存症

...本当は男性恐怖があることに気付いた

...女性性が搾取されることへの恐怖心が浮上

新たに

...月経前に乳房の張り

...卒乳後の乳腺線維腺腫

* 依存ではなく伸びやかで軽やかな
女性性を身に付けたい

©2023 S.katayama & JPHMA

経過、息苦しさが改善しています。腎臓部に見られた痛みも改善しました。根深く抱えていた不安感も改善しています。

母親の攻撃的な姿を見て育ち、自分にも同じところがあると気付きました。

痴漢やセクハラに遭いやすく、自分の女性性が搾取されることへの恐怖心が浮上してきました。自分の女性的な魅力を使って恋愛依存症になっていたけれど、本当は男性に対して恐怖があることにも気付きました。

忙しくさばさば仕事をするのは、陰湿な女性社会に巻き込まれたくないため、本当は女性同士仲良くしたいと思っていることにも気付かれました。

今は、依存ではなく伸びやかで軽やかな楽しい女性性を身に付けたい、そして、距離感をもってパートナーシップを築きたいとのご希望でした。

新たに、月経前に右の乳房の張りがあり、月経がはじまると治まるという症状があり、また、卒乳後の乳腺線維腺腫についても、不安があるとのこと相談でした。

3 回目 2022/03/05

1 : 1745# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 精神的影響全般から :

2 : 560# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 3. 呼吸 - 不安な :

3 : 641# 2. 系統 - 5. 心血管 - 1. 心臓 - 動悸 :

4 : 905# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 身体の側面 - 右側 :

5 : 229# 1. 部位 - 2. 胸 - 2. 胸部(胸郭) - 乳房 :

6 : 1190# 3. 全般 - 3. 全般 - 2. 胸 - 睡眠(腫痛) :

7 : 2038# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 月経 - 前 :

順位	レメディー	出現回数	票数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Phos.	7	23	3	4	4	1	4	4	3	
2	Puls.	7	23	4	4	4	1	3	3	4	
3	Lyc.	7	20	3	1	4	2	2	4	4	
4	Bell.	7	19	3	3	3	2	3	4	1	
5	Bry.	7	19	3	3	3	2	4	3	1	
6	Cham.	7	18	3	3	2	2	4	3	1	
7	Rhus.	7	17	2	3	3	2	2	4	1	
8	Hep.	7	17	1	3	3	3	3	3	1	
9	Nux-v.	7	15	4	2	3	1	1	3	1	

TBRよりレメディー選択

©2023 S.katayama & JPHMA

3 回目のレメディー選択です。

随時

Φベリスペレニス（ヒナギク）乳房の腫瘍化
+ Calc-p.LM04 乳腺の問題に
+ Nux-v.LM06（マチンシ）重責の仕事に
+ Puls.LM06（セイヨウオキナグサ）
義務を充分果たしていないかのような気分

*ファー・イースト・フラワーエッセンス



ガガイモ



オオシマザクラ



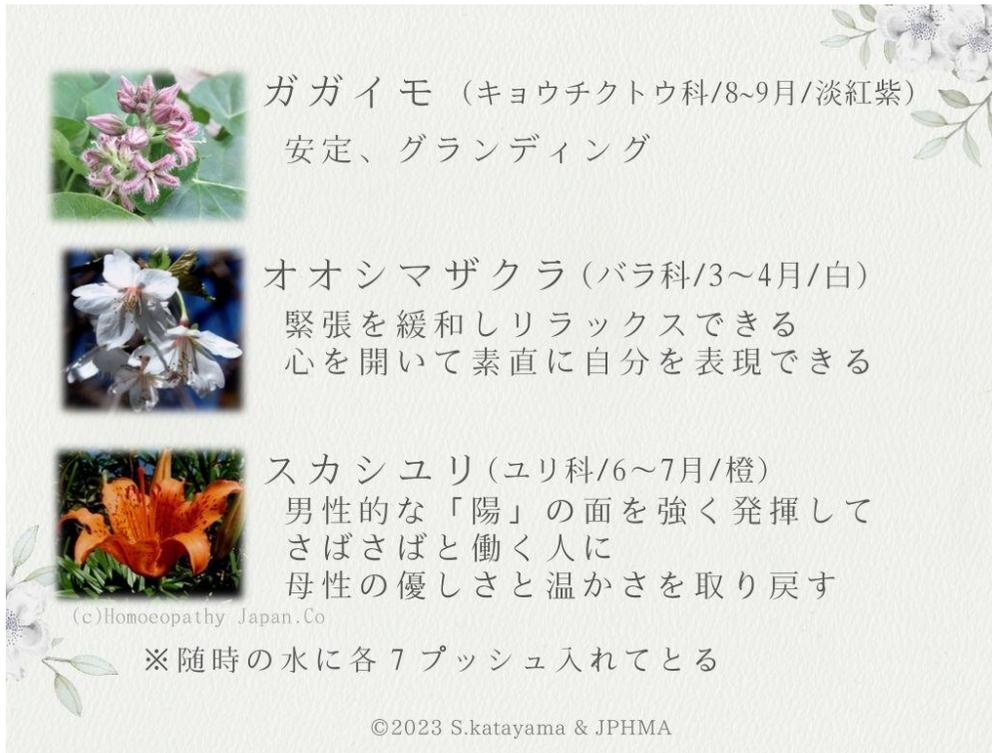
スカシユリ

©2023 S.katayama & JPHMA

引き続き不安症と息苦しさの傾向を考慮しつつ、当初の恋愛過多が本来の母性、就労する安定した女性性になってきたところをサポートさせていただきました。

新たな乳房の張りや乳腺線維腺腫に Bell-p. のマザーチャイルドをお選びしました。Bell-p. の「コントロールされたくない」というインナーチャイルドの見解とも重なります。

合わせてお選びしたフラワーエッセンスは、ガガイモ、オオシマザクラ、スカシユリです。



ガガイモ (キョウチクトウ科/8~9月/淡紅紫)
安定、グランディング

オオシマザクラ (バラ科/3~4月/白)
緊張を緩和しリラックスできる
心を開いて素直に自分を表現できる

スカシユリ (ユリ科/6~7月/橙)
男性的な「陽」の面を強く発揮して
さばさばと働く人に
母性の優しさと温かさを取り戻す

(c)Homoeopathy Japan.Co

※随時の水に各 7 プッシュ入れてとる

©2023 S.katayama & JPHMA

ガガイモは、本来持っている女性性がしっかりグランディングできるように、

また、オオシマザクラは、信頼をもって新たなパートナーシップを築けるように、

そして、スカシユリは、男性的な捌けた仕事ぶりの中に本来の女性的な母性の優しさと温かさを持てるように、お選びました。

〈結 果〉

月経時乳房の張り...改善
乳腺線維腺腫...2回受診して異常なし
不安感、息苦しさ...問題なし
人との境界線が分かってきた



© HomoeopathyJapan.Co

魂心体のバランスを整え成長へと導く
ZENホメオパシー
人生に再び調和をもたらす花のエッセンスの力

©2023 S.katayama & JPHMA

とり始めて最初の月経で多量の経血があり、2回目の月経で搾り取られるような圧迫される痛みがあり、3回目の月経は穏やかに経過しました。

その後、月経の時の右乳房の張りは改善しました。乳腺線維腺腫も2回受診をして異常なしと病院の診断が出たそうです。主訴の不安感、息苦しさも問題なく、人との境界線が分かってきて、距離を保てるようになりました。

結果、不安でいたたまれずお電話がかかってくることがたびたびあったこの方が、ご自分から、「不安がなくなりもう大丈夫です」とご報告があり、健康相談終了となりました。

まとめとなりますが、幼少期に存在を認めてもらえず、慰めを求めて恋愛依存する人生で、結婚と離婚、転職など必至に人生を模索してこられました。その歩みは魂の成長そのものであり、高次に向かう魂が行き詰まったことで、心身に症状が現れたケースと思われまます。

初回にお選びしたフラワーエッセンスのオニグルミ、フジ、マツムシソウは、春から夏にかけて、植物のエネルギーが最も高まる時季に開花する花のエッセンスであり、恋愛においても仕事においても、マイナスエネルギーがアクティブになったこの方に強力にエネルギーのサポートをする役目をしていたように思います。

そして、秋から冬を越えて春先まで、閉鎖的な時季に開花するチャノキ、ビワ、ヒサカキのエッセンスによって、ご自分の内面を深く掘り下げ、癒しすすめる中で、女性特有の症状が浮上してきたと思われまます。

それを手放せるよう、春に新しい季節の訪れを告げるオオシマザクラと、ハート形の葉を付けしっかりと蔦を張って伸びる女性らしい淡紅紫色のガガイモ、そして陽に向かって橙色の花をまぶしく咲かせるスカシユリをもって、どっしりと安定に至ったのではないかと思います。

魂心体のバランスを整え成長へと導く ZEN ホメオパシーのレメディー、マザーチンクチャーと共に、人生に再び調和をもたらすフラワーエッセンスが相乗して、心と身体を癒すことを学ばせていただいたケースでした。

症例の発表を快諾くださったこのクライアント様に感謝申し上げますとともに、これからも、安心してご自分を愛し、花のある人生を歩まれますように。